

「女性に対する暴力をなくす運動」

期間：11月12日(金)～25日(木)

夫、パートナー等からの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為や人身取引等、女性に対する暴力は女性の人権を侵害するものであり、決してゆるされるものではありません。

今年度は、「性暴力を、なくそう」がテーマです。

あなたの望まない性的な行為は、
性暴力です。

性犯罪・性暴力で悩んでいる方へ、
一人で悩まず、ご相談ください。

毎年11月12日～25日は、女性に対する暴力をなくす運動の実施期間です。



▲令和3年度ポスター(内閣府)

この期間に合わせて、なは女性センターでは、ポスターの掲示、チラシを配布し、「女性に対する暴力」に関する相談窓口の周知を図ります。

こんな、言い訳は通らない!!

2人きりで食事したよね?

ほら、お互いお酒飲んでたし...

家に来てくれたよね?

イヤって言わなかったよね?

そんな服装してるしさあ...

今、付き合ってるじゃん!

ボディータッチしてきたよね?

with you おきなわ

沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター

はやくワンストップ



TEL #8891

24時間
365日



※繋がらない場合は、098-975-0166へ

性暴力の被害にあわれた方の意思を尊重しながら、医療的支援を含めた必要な支援を行っています。24時間365日体制で相談を受け付けていますので、いつでも相談できます。

内閣府
性暴力に関するSNS相談
(キュアタイム)

+Cure time+



警察庁
性犯罪被害者電話相談

ハートさん
#8103



なは女性センターを利用される皆さまへご協力をお願い



「なは女性センターにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って、ご利用いただきます。

体調のすぐれない方は、ご利用をお控えください。マスク着用、検温、手指消毒のご協力をお願いします。

今後の状況により、変更する場合があります。最新の情報は市ホームページでご確認ください。

当面の間、開館時間を短縮しています。(月曜～金曜：午後8時閉館)

これってDVなのかな？

相手との関係が、「つらい」「なにかおかしい」

DV相談^{プラス}

新型コロナウイルス感染拡大に伴う、外出自粛で、生活不安やストレスなどで夫から妻へ暴力をふるうケースが増えています。ひとりで抱えず、ご相談ください。

- 専門の相談員が対応
- 面談、同行支援などの直接支援も実施
- 安全な居場所も提供
- 24時間電話対応
- 10か国語対応



電話・メール⇒24時間受付
SNS・チャット相談⇒12:00～22:00

つなが はやく
電話 0120-279-889

あなたが望まない性的な行為は「性暴力」です。

年齢、相手とあなたの関係、性別、セクシュアリティなどは関係ありません。被害を受けたあなたは悪くありません。被害の責任は、加害者にあります。もし、あなたが被害にあったら、あなたの身近な人が被害にあったら…。ひとりで悩まず、ご連絡ください。

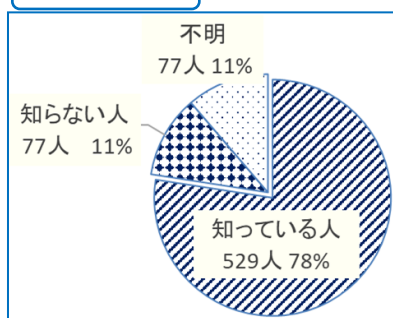
はやくワンストップ
#8891
24時間365日

沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター相談状況

(平成27年2月2日～令和3年9月30日)

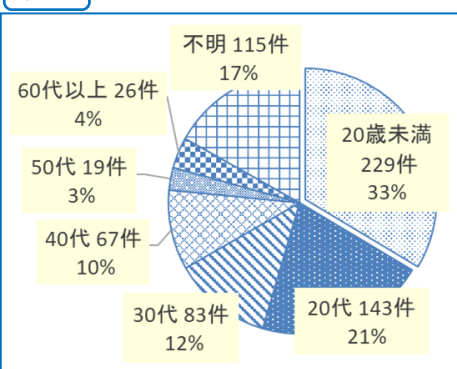
◎延べ相談件数8,808件 ◎相談者数682人

相手との関係



同一人で複数被害を受けている場合があります(複数回答)

年代



出所:「沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センターの相談実績」より

日程が決まりました!!

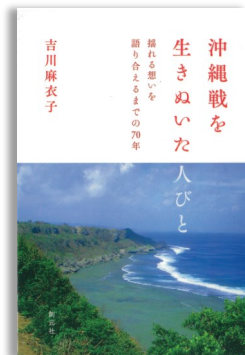
度重なる延期となりお待たせいたしました。

なは女性センター主催講座

『沖縄戦』を生きぬいた人びと

「沖縄戦」から76年が経ちました。住民を巻き込んだ国内最大の地上戦といわれる「沖縄戦」の体験者約500人の対話を記録した『沖縄戦を生きぬいた人びと』が2017年に出版されました。語り合いたいという気持ちを大事に「サポート・グループ」として「沖縄戦の語らいの場」で語られた約10年間の記録です。

「戦争に奪われたもの」を取り戻していった女性の物語や、沖縄が大きな犠牲をはらって得た「平和を愛する心」について、著者の吉川さんと共に考える機会とします。



▲2017年6月発行(創元社)

手話通訳あり

日時 11月26日(金) 午後2時～4時

定員 24人



よしかわ まいこ

講師: 吉川 麻衣子

(沖縄大学人文学部福祉文化学科教授／臨床心理士／公認心理師)

専門は臨床心理学、博士(文学)。那覇市出身。趣味はランニング、メディテーション。

天妃小学校4年生の時、学年主任の翁長安子先生が話して下さった沖縄戦体験に衝撃を受けた記憶が鮮明に残る。激しい沖縄戦を生きぬいて、戦後を歩んでこられた世代の中には体験や想いを語りたい方々がいる。語り継いでいかなければいけない。ただ、決して安易に聞いてはいけな戦争の話。それぞれの語り手のペースに沿って、共感しながら聴くことを始めたのは琉球大学の学生の頃。20余年続いた活動で感じたのは、苦難を乗り越えるしなやかな強さを持った人びとの生きる力であった。

*市在住・在勤・在学の方は、手話通訳が利用できます。11月19日(金)までにお申し込みください。なお、一時保育は当面の間、休止いたします。*新型コロナウイルス感染症などの状況により、変更する場合があります。

その④

なは女性センター 25周年

25周年を迎えるにあたり、
そのあゆみを振り返ります。



▲市と市民・事業者・
教育者のみなさんが
協働して男女共同
参画社会の実現に
向けて、取り組むた
めに条例を制定しま
した。(2005年3月)

那覇市男女共同参画推進条例



▲とまりんでの、ワークショップの
様子。当日は60以上の団体が
参加し、日ごろの活動を展示や
舞台、学習会などを通して発表
し、多くの方々が来場しました。
(1998年9月)

那覇女性史「なは・女のあしあと」の完成

県内で初めて女性の視点からつづられた女性史です。
廃藩置県から沖縄戦までの「近代編」(98年発行)に続き、
古琉球から琉球王国末期までの「前近代編」、沖縄戦による
収容所生活からの「戦後編」が2001年に発刊されました。
同年には、なは女性史連続講座「なは女性史アカデミー」
を開催し、それぞれの時代で女性たちがどう生き抜いたか
について学びました。



那覇女性史「なは・女のあしあと」
「なは女性史証言集」を発刊。

うないフェスティバル

語れ 遊ば

国連婦人の十年の最終年1985年に「女たちからの
メッセージ」をテーマに始まり、平和を基調に男女平等
社会の実現やあらゆる立場の人々との共生を目指し、
自己表現やネットワークづくりの場として発展してきま
した。2014年の第30回まで開催されました。



★女性問題やジェンダーに関する図書の貸し出し
及び資料の閲覧ができます。

☆貸出し期間:2週間 お一人2冊まで

①『モモ』

ミヒヤエル・エンデ著/大島かおり訳/岩波書店
2005年6月16日発行

家族や友人など、だれかと自分の気持ちを語り合える時間は
ありますか。人々の暮らしにとって、時間とは何なのかを教えて
くれます。姿や形が見えないわけではないのに、私たちが気づ
いていない事。

本書は、1973年に南ドイツで誕生し、1974年に「ドイツ児童文
学賞」を受賞した物語です。大人も子どもも楽しめる、読書の秋
におすすめしたい1冊です。



②『りゅうがいます』

ヨシタケシンスケ作・絵/PHP研究所/2015年3月20日発行

子どもの不思議な行動を目にしたことはありますか。何気な
い行動にも、彼らなりの「りゅう」があるようです。そして、子
どもは保護者の癖や仕草、口調などをよく観察しています。大人
にとっては意味が理解できない子どもの行為も、「どうして?」
「なぜ?」と優しく理由を尋ねてみて下さい。大人が想像しても
いないような新しい発見があるかもしれません。



③『ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた』 あなたがあなたらしくいられるための29問

佐藤文香監修/一橋大学社会学部佐藤文香ゼミ一同著
明石書店/2019年6月21日発行

フェミニズムやジェンダー、セクシュアル・マイノリティという
言葉を聞いて、何気なく浮かぶ素朴な疑問はありますか。例え
ば、女性専用車両や女性センターの役割について、「女性社会
的に優遇されすぎているのでは」という声などです。ジェン
ダーやフェミニズムに対して抱くモヤモヤを、すっきりさせてみ
ませんか。



第30回
金城芳子基金
沖縄の女性のため、社会的に意義の
ある活動や調査研究を行う個人、団体
及びグループに資金を助成します。



募集締切
令和4年(2022)
3/31(木)
当日消印有効

助成金額
30万円
助成件数: 1件

助成対象: 原則として女性であること
(個人、団体及びグループ)

応募方法: 自薦、他薦は問わない

応募用紙: 「公益財団法人 沖縄協会」の
ホームページからダウン
ロード可

審査発表: 令和4(2022)年4月下旬

問い合わせ・応募先

「金城芳子基金」

運営委員会

事務局長: 浦崎 成子

電話: 098-944-5025

e-mail:

urasaki1@diary.ocn.ne.jp



↑ アクセス
公益財団法人
沖縄協会

